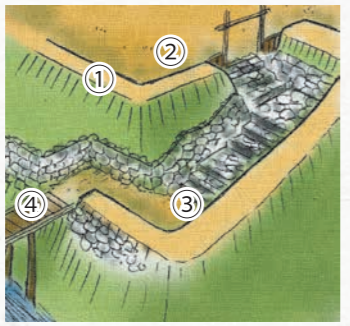


用語解説

- ① 土塁
敵の侵入を防ぐために、土を盛り固めて曲輪の周囲を囲んだもの。
- ② 曲輪
土塁などで囲んで作られた平らな場所。
- ③ 虎口
曲輪の出入り口。直進できないようにすることで、侵入しづらい工夫がされている。
- ④ 曳橋
非常時には壊す等して敵が渡れないようにする橋。



ご注意

- 動きやすい靴と服装で見学しましょう。
- 火気厳禁です。
- 路上駐車はしないでください。
- 動植物の捕獲・採取をしないでください。
- 散策路以外は通らないでください。
- コミはお持ち帰りください。
- 危険な生き物（ハチ・ヘビなど）を見かけたら、刺激しないでください。
- 夜間の散策は危険です。
日中の明るいうちに見学しましょう。

見学案内

利用について
見学は無料です。パンフレットの配布、スタンプ、トイレの利用時間は以下のとおりです。

- ・管理棟 午前9:00～午後5:00
- ・ガイダンス施設 午前9:00～午後5:00

★年末年始（12/29～1/3）及びガイダンス施設の臨時休館日は利用できません。

日本100名城スタンプ・国史跡八王子城跡記念スタンプはガイダンス施設の館内にあります。

ガイド
管理棟から御主殿跡まで、ボランティアによるガイドを行っています。

受付時間 午前9:00～午後3:00

★年末年始（12/29～1/3）は除きます。また、悪天候時などに活動を休止する場合があります。

駐車場
無料 大型バス4台・普通車50台
(障害者用2台、思いやり駐車スペース1台)
利用時間 午前9:00～午後5:00

アクセス

【公共交通機関をご利用の場合】
JR中央線高尾駅北口1番バス乗り場より西東京バス、「霊園前・八王子城跡入口」バス停下車、徒歩約20分。

★土・日、祝日のみ、「八王子城跡」行きバス、「八王子城跡」バス停がご利用になれます。

【お車でお越しの場合】
圏央道八王子西インターチェンジから高尾方面へ約10分。または、圏央道高尾山インターチェンジから、甲州街道を経由して約10分。



「日本遺産」と「八王子城跡」

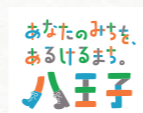
「日本遺産 (Japan Heritage)」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が認定するものです。八王子市のストーリー「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」は、東京都で初めてかつ唯一の日本遺産として、令和2年（2020年）に認定されました。

「八王子城跡」は、日本遺産「桑都物語」を語る上で欠かすことのできない構成文化財の一つとなっています。また、八王子城跡内の「八王子城跡御主殿出土品」「八王子神社」「北条氏照および家臣墓」も、八王子城主・北条氏照にまつわる構成文化財に位置付けられています。

お問合せ

八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課
〒192-8501 東京都八王子市元本郷町3-24-1 TEL: 042-620-7265 FAX: 042-626-8554

国史跡八王子城跡ガイダンス施設
〒193-0826 東京都八王子市元八王子町3-2664-2 TEL・FAX: 042-663-2800



国史跡 八王子城跡

National Historic Site Hachioji Castle Ruins



【八王子城とは】

八王子城は、小田原に本拠をおいた小田原北条氏の、三代目氏康の三男、北条氏照 (?-1590) が築いた山城です。天正10年(1582)頃に築城が開始され、天正15年(1587)頃までに滝山城(八王子市丹木町)から拠点を移したとされます。

豊臣秀吉の関東制圧の一環で、天正18年(1590)6月23日、前田利家・上杉景勝軍に攻められて落城しました。この八王子城落城が決め手となって、本拠の小田原城は開城、氏照はこの時小田原に籠城中で、兄の氏政と共に城下で切腹し、北条氏は滅亡しました。

八王子城は関東屈指の山城です。城は大まかに、城下町に当たる『根小屋地区』、城主氏照の館などがあつた『居館地区』、戦闘時に要塞となる『要害地区』に分けられます。城山は様々な動植物が生息し、四季折々の様子を目にすることができます。散策すれば歴史を学ぶとともに、豊かな自然に触れる有意義な時間を過ごすことができます。

【八王子神社と地名の由来】

八王子神社は、牛頭天王とその眷属神(主神につき従う神々)である八人の王子を祀る信仰とともに、全国に点在します。この城山の八王子権現は、延喜16年(916)に華嚴菩薩妙行が祀り、北条氏照が城の守護神としたもので、城の名称や八王子の地名の由来になったとされています。